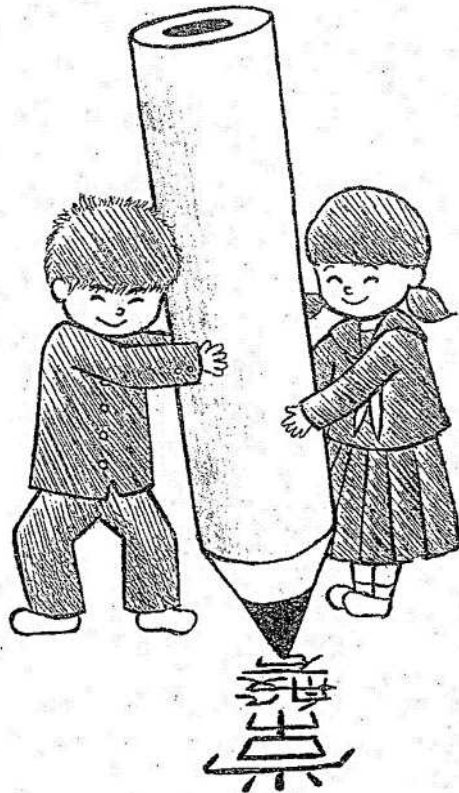


令和3年度

四日市市立常磐中学校

シラバス(第2学年)



第2学年 国語科 年間学習計画と評価

1 教科目標等について

目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を養う。 (1) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができる。〔知識及び技能〕 (2) 論理的に考える力や共感したり想像したりする力を養い、社会生活における人との関りの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。〔思考力、判断力、表現力等〕 (3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。〔学びに向かう力、人間性等〕
教科書	国語2（光村図書） 新編新しい書写1・2・3年用（東京書籍）
副教材	国語便覧（浜島書店）E 漢字（とうほう）国語の学習（明治図書）よくわかる中学国文法（吉野教育図書）

2 評価の観点及び方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
以下の事項について、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしている。 (1)言葉の特徴や使い方に関する事項（漢字、語彙、文等のきまり、表現技法等） (2)情報の扱い方に関する事項（文章や資料等の関係を理解や整理等） (3)我が国の言語文化に関する事項（伝統的な言語文化や書写等）	各単元の中で設定されている「話す・聞く」「書く」「読む」といった言語活動を通して、既習の知識や技能等を適切に活用したり、複数の知識や技能等を結び付けたりしながら、学習課題や自分なりの問いに対して、考えたり、判断したり、表現したりしている。	各単元における知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、最後まで粘り強く学習しようとしている。
・テスト（定期、単元、技能等） ※技能テスト：音読、スピーチ、書写作品等 ・授業の活動や発言 ・指導に対する成果物（ノート、レポート、作品等）	・テスト（定期、単元等） ・授業の活動や発言 ・指導に対する成果物（ノート、レポート、作品等）	・授業の活動や発言 ・指導に対する成果物（ノート、レポート、作品等） ・振り返り

3 学習についてのアドバイス

学 校	・学習課題等を捉え、自分なりの問いを持ち、解決する方法を工夫しましょう。 ・先生の指示や友達の発言をしっかりと聞きましょう。 ・目的や対象等を意識して、伝わるように話したり、文章を書いたりするようにしましょう。 ・文章を読む際には、内容や構造等を捉え、自分の考えを深めていくようにしましょう。 ・学習の記録（ノート等）は、工夫してまとめるとともに、自分の考えや気付いたことなども書き込みましょう。
家 庭	・E 漢字を使って漢字を確実に覚えましょう。 ・教科書等を参考にして、何を学習するのか、自分はどのように考えるのかを整理しましょう。 ・自分が興味をもった本を中心に計画的に本を読むようにしましょう。 ・学校で学んだことをノートや資料で復習をすることで、確かな力にしましょう。

4 主な単元・教材及び目標

※単元等や目標については、主なものを明記しています。

月	主な単元・教材等	主な学習目標
4	オリエンテーション 小説「アイスプラネット」 問いを立てながら聞く（聞き取りメモ）	- 授業の進め方や漢字練習・テストのしかたについて理解する。 - 登場人物の心情や考え方が表れた語句に注意して読む。 - 人物どうしの関係や、それぞれの考え方を読み取る。 - 筋道が通っているかどうかを考えながら聞く。
5	「短歌に親しむ」「短歌を味わう」 文法①（単語・自立語と付属語・活用・名詞） 古典「枕草子」	- 短歌についての理解を深め、様々な短歌を「鑑賞」する。 - 品詞分類のための基礎を知る。 - 古典の知識の復習を行うと同時に、随筆としての特徴を味わう。
6	説明文「クマゼミ増加の原因を探る」 思考のレッスン1 具体と抽象 メディアを比べよう メディアの特徴を生かして情報を集めよう 随筆『自分で考える時間』をもとう	- 文章の構成や展開について、理解を深める。 - 文章全体と部分の関係や、文章と図表の関係に注意して読む。 - 具体と抽象の関係について理解する。 - 文章を比較し、文章の構成や論理の展開、表現の効果について理解する。特徴を把握したうえで情報の集め方を考える。 - メディアを使う特に必要な留意点を理解する。
7	「類義語・対義語・多義語」 小説「盆土産」「夏の葬列」	- 類義語・対義語・多義語について知る。 - 登場人物の言動や情景を表す語句に着目し、作品に与える印象を考えたり、人柄や心情を読み取ったりする。感想文を書く。
9	随筆「字のないはがき」 聞き上手になろう 表現を工夫して書こう 〔推敲〕表現の効果を考える 文法②（動詞・形容詞・形容動詞）	- 随筆の味わい方を知り、日常の読書に生かす。 - 話の展開に注意して相手の思いや考えを受け止め、質問する。 - 相手や目的に応じて、伝えたいことが伝わるよう表現を工夫する。 - 読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめ、文章を整える。 - 活用のある自立語の分類の仕方を知る。
10	説明文「モアイは語る」 根拠の適切さを考えて書こう 異なる立場から考える（討論） 効果的な意見文を書く	- 筆者の主張を正確に理解する。そのために問題提起や具体的な根拠の例などの工夫を知る。 - 意見を裏づけるための、適切な根拠のあり方について理解する。 - 根拠に説得力があるかどうかを吟味する。 - 自分の意見が効果的に伝わる文章を書く。
11	詩「月夜の浜辺」 古典「扇の的」「仁和寺にある法師」 漢詩の風景	- 言葉の響きやリズムを味わいながら朗読する。 - 作品の特徴を生かし朗読し、古典の世界に親しむ。 - 当時の常識と現代の相違点や共通点を知り、作品を楽しむ。 - 漢詩を朗読し、独特の言葉遣いや調子を生かして読み味わう。
12	随筆「君は『最後の晩餐』を知っているか」 文法③（連体詞・副詞・接続詞・感動詞） 書写	- 作者のそれとなく伝えたいことを想像する。 - 名詞以外の活用のない自立語の見分け方を知る。 - 楷書と行書の違いを知り、毛筆作品を書く。
1	走れメロス（読） 詩「木」	- 登場人物の心情の変化をつかみ、話の展開を楽しむ。 - 抽象的な概念を表す言葉などに着目して詩を読む。
2	文法④ 敬語 同音異義語・同訓異字	1・2年生の内容を復習する。 - 敬語の使い方を復習する。 - 読み方は同じでも意味の違う語句について知る。
3	構成や展開を工夫して書こう ～国語の学びを振り返ろう～	1年間の授業を振り返り、成果や課題をはっきりさせ、今後の学習に対しての取り組みや姿勢を作文にする。

※書写は、国語科の授業の中で年間20時間程度行われます。以下は、年間を通じた学習目標です。

- ・漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書く。
- ・目的や必要に応じて、楷書または行書を選んで書く。

第2学年社会科 年間学習計画と評価

1 教科目標等について

目標	社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することを目指す。 (1) 我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (2) 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 (3) 社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土や歴史に対する愛情、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。
教科書	社会科中学生の地理（帝国書院）新しい歴史（東京書籍）、地図帳（帝国書院）
副教材	地理資料集(新学社) 社会の自主学习地理2(新学社) ファイル みつけよう はてな？と！びっくり(とうほう) 社会の自主学习歴史2・3(新学社)

2 評価の観点及び方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
【地理】 我が国の国土及び日本の諸地域に関して、地域の諸事象や地域的特色を理解するとともに、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。 【歴史】 我が国の近世から近代の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。	【地理】 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて公正に選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。 【歴史】 歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。	【地理】 日本の地域に関わる諸事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。 【歴史】 歴史に関わる諸事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
定期テスト、単元テストや小テスト ※「知っている・できる」レベルだけでなく、「わかる」レベルの概念的理解を問う問題 パフォーマンス課題やポートフォリオ 単純な技能をはかる実技テスト など	定期テスト、単元テストや小テスト ※「わかる」レベルの思考を問う問題や、「使える」レベルの思考を意識した記述問題 パフォーマンス課題やポートフォリオ 複数の技能を組み合わせた実技テスト ノート・ポートフォリオなどの記述 など	授業中の活動や発言 ノート・レポートなどの記述 パフォーマンス課題 ポートフォリオ など

※発言…言語活動を通して、話題や相手の話をもとに、思考しながら話をしたり、意見を述べたりすること

※パフォーマンス課題…思考のみならず、粘り強く考える意欲や、見方・考え方を働かせて考えようとする知的態度などが試されるような課題

3 学習についてのアドバイス

学 校	・自分の考えをしっかりと発信しましょう。その際には、資料や今までの学習などの根拠をもとに、理由もふまえながらの発信に心がけましょう。 ・他の人の考えにしっかりと耳を傾けましょう。その際には、自分の考えと比較し、同じところや違うところを考えながら、自分の考えを再構築しましょう。 ・「問い」の意識をもち、他の人の考えを聞いたり、地図帳や資料集を積極的に使ったりしながら、学習を深めていきましょう。 ・ノートへは、黒板に書かれたことだけではなく、自分の気づきや学習のポイントだと考えるところを積極的に書きましょう。
家 庭	・新聞やテレビから、社会で起こっている出来事を知り、授業で学習した内容との関連を見いだすとともに、現在進行的な社会事象への関心を高めましょう。 ・学習した内容に関連する資料を集めたり、調べものをしたりして、追究を深めましょう。 ・ノートやワーク、i プリ等を利用して、予習や復習をする習慣をつけましょう。

4 主な単元・教材及び目標

※単元等や目標については、主なものを明記しています。

月	主な単元・教材等	主な学習目標
4	㊤【日本のさまざまな地域】 (地) 日本の地域的特色	・日本の地形や気候の特色、海洋に囲まれた日本の国土の特色、自然災害と防災への取組などを基に、日本の自然環境に関する特色を理解する。 ・少子高齢化の課題、国内の人口分布や過疎・過密問題などを基に、日本の人口に関する特色を理解する。 ・日本の資源・エネルギー利用の現状、国内の産業の動向、環境やエネルギーに関する課題などを基に、日本の資源・エネルギーと産業に関する特色を理解する。 ・国内や日本と世界との交通・通信網の整備状況、これを活用した陸上、海上輸送などの物流や人の往来などを基に、国内各地の結び付きや日本と世界との結び付きの特色を理解する。 ・「自然環境」「人口」「資源・エネルギーと産業」「交通・通信」の項目に基づく地域区分を踏まえ、我が国の国土の特色を大観し理解する。 ・日本や国内地域に関する各種の主題図や資料を基に、地域区分をする技能を身に付ける。 ・「自然環境」「人口」「資源・エネルギーと産業」「交通・通信」の項目について、それぞれの地域区分を、地域の共通点や差異、分布などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現する。 ・日本の地域的特色を、「自然環境」「人口」「資源・エネルギーと産業」「交通・通信」の項目に基づく地域区分などに着目して、それらを関連付けて多面的・多角的に考察し、表現する。 ・日本の地域的特色と地域区分について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとする。
5	㊤日本の諸地域 (地) 九州地方	・幾つかに区分した日本のそれぞれの地域について、その地域的特色や地域の課題を理解する。
6	(地) 中国・四国地方	
7	(地) 近畿地方	
	(地) 中部地方	
	(地) 関東地方	・次の(1)から(5)までの考察の仕方を取り上げた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解する。 (1) 自然環境を中核とした考察の仕方、(2) 人口や都市・村落を中核とした考察の仕方、(3) 産業を中核とした考察の仕方、(4)

7 9	(地) 関東地方 (地) 東北地方 (地) 北海道地方 ※日本の各諸地域のその時々状況によって各地方の学習順が入れかわることがあります。	交通や通信を中核とした考察の仕方、(5)その他の事象を中核とした考察の仕方 ・日本の諸地域において、それぞれ上の(1)から(5)までで扱う中核となる事象の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現する。 ・日本の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとする。
10	(地) 地域の在り方を考える	・地域の実態や課題解決のための取組を理解する。 ・地域的な課題の解決に向けて考察、構想したことを適切に説明、議論しまとめる手法について理解する。 ・地域の在り方を、地域の結び付きや地域の変容、持続可能性などに着目し、そこで見られる地理的な課題について多面的・多角的に考察、構想し、表現する。 ・地域の在り方について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする。
11	(歴) 【近世の日本】 (歴) ヨーロッパ人との出会いと全国統一	・古代のローマ帝国と比較して、ローマ帝国の分裂とそれに伴うキリスト教会の分裂を理解する。 ・ルネサンスと宗教改革を通して、ヨーロッパ世界の変化の様子を理解する ・主にアジアとイスラム商人との関係から、ヨーロッパ人が海外に進出した理由を考察し、表現する。 ・掲載資料から、鉄砲とキリスト教が日本の社会に広まった様子を捉える ・織田信長と豊臣秀吉によって全国が統一されたことを理解する。 ・太閤検地と刀狩によって、社会がどのように変化したのかを考察し、表現する。 ・ヨーロッパ人の来航によって生まれた文化の様子とその影響を理解する。
12	(歴) 江戸幕府の成立と対外政策 (歴) 産業の発達と幕府政治の動き	・約 260 年続く平和な時代が生まれた理由を考える。 ・江戸時代の政治制度のあらましと、幕府による大名や朝廷の統制について、大名配置や武家諸法度などの資料から理解する。 ・江戸時代の身分制度と武士、百姓、町人それぞれの職分や生活の様子を理解する。 ・百姓や町人とは別に、差別された身分の人々がいたことの意味を捉える。 ・江戸幕府の対外政策の変化について年表などから調べ、貿易の振興から鎖国へと方針を変えた理由を考察し、表現する。 ・長崎でのオランダ・中国との貿易について理解する。 ・琉球との関係について理解する。 ・アイヌの人々との関係を理解する。 ・農業の進歩や諸産業の発達の様子を調べ、そのあらましを理解する。

1		・交通路が整備され、三都をはじめとする都市が発展したことを理解する。 ・文学や浮世絵の作品などからこの時期の文化の特色を理解する。 ・幕藩体制の基盤がゆらぎ、百姓一揆が起きたことを理解する。 ・国学と蘭学の発達や化政文化の特色について調べ、社会の動きとの関連を考察し、表現する。 ・外国船の接近とそれに対する幕府の対応について理解する。 ・浮世絵から江戸時代の人々の関心や生活の様子について理解する。
	(歴) 【開国と近代日本の歩み】	・イギリスとアメリカで近代民主政治への動きが生まれたことに気づき、現代の政治とのつながりを捉える。 ・フランスで近代民主政治への動きが生まれたことに気づき、現代の政治とのつながりを捉える。 ・徴兵制や義務教育、政治参加を通じて、国民として一体感が高まったことを理解する。 ・ロシアとアメリカ合衆国が発展する過程で、さまざまな問題を抱えていたことを捉える。 ・イギリスから産業革命と資本主義社会が広がっていく過程を理解する。
	(歴) 欧米における近代化の進展	
	(歴) 欧米の進出と日本の開国	
2	(歴) 欧米の進出と日本の開国	・イギリスを中心とする欧米諸国が、工業製品の市場や原料の供給地を求めてアジアへ進出した過程を理解する。 ・ペリー来航から日米修好通商条約の締結までの過程、不平等な内容について考察し、表現する。 ・開国によって、日本の政治や経済はどのように変化したのかを捉える。 ・開国による政治的及び社会的な影響が、明治維新への動きを生み出したことを捉える。
	(歴) 明治維新	・新政府の方針や諸改革の内容、中央集権国家の体制が確立していったことを理解する。 ・新政府が行った学制・兵制・税制の改革の具体的な内容を理解する。 ・明治維新の三大改革が人々の生活に及ぼした影響について考察し、表現する。 ・新政府が行った富国強兵・殖産興業政策の具体的な内容を理解する。 ・岩倉使節団の目的と帰国後の近代化への影響、明治初期の外交政策について捉える。 ・領土の確定について、近代的な国際関係の下で、新政府が行った外交政策を理解する。 ・竹島、北方領土、尖閣諸島が日本固有の領土になった時期や経緯と、日本政府の見解を理解する。 ・自由民権運動が始まった経緯や、改革への不満から士族の反乱が起きた過程を理解する。 ・議会政治が始まったことの歴史的意義や、現代の政治とのつながりを考察し、表現する。
3		

第2学年 数学科 年間学習計画と評価

1 教科目標等について

目標	数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を養う。 (1)数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 〔知識及び技能〕 (2)数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。 〔思考力、判断力、表現力等〕 (3)数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を養う。 〔学びに向かう力、人間性等〕
教科書	未来へひろがる数学2（啓林館）
副教材	リポート学習（正進社）、単元別プリント観点別評価（正進社）

2 評価の観点及び方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
- 文字を用いた式と連立二元一次方程式、平面図形と数学的な推論、一次関数、データの分布と確率などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解している。 - 事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	文字を用いて数量の関係や法則などを考察する力、数学的な推論の過程に着目し、図形の性質や関係を論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、その特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、複数の集団のデータの分布に着目し、その傾向を比較して読み取り批判的に考察して判断したり、不確定な事象の起こりやすさについて考察したりする力を身に付けている。	数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしたり、多様な考えを認め、よりよく問題解決しようとしたりしている。 振り返りシートに本時の成果や反省を記入することで、次時への意欲や家庭学習への意識を向けることができる。
- 定期テスト・単元テスト等 - 授業の様子や発言内容	- 定期テスト・単元テスト等 - 授業の様子や発言内容 - 指導に対する成果物（レポート、作品等）	- 授業の様子や発言内容 - 指導に対する成果物（レポート、作品等） - 振り返り（自己・相互評価） - 定期テストごとのノート、自主ノートのチェック

3 学習についてのアドバイス

学校	- これまでに身に付けた知識や考え方を利用して、課題を考える習慣をつけましょう。 - 自分の意見は、具体的に分かりやすく伝えるようにしましょう。 - 他の人の意見を聞きたときは、自分の意見と比べながらしっかりと聞きましょう。 - ノートやテキストには、黒板に書かれたことを写すだけではなく、他の人の説明や、自分の考えを書き加えるなどして工夫して書くようにしましょう。
家庭	- 分からない問題や間違えた問題は解答や教科書を参考に、次の授業までに理解できるようにしておきましょう。 - 授業で学習した内容に関連する問題（「学んで E-net！」の標準問題や発展問題）でしっかりと練習するようにしましょう。 - 定期テスト直前にまとめて学習するのではなく、計画的に問題集を進めておきましょう。

4 主な単元・教材及び目標

※単元等や目標については、主なものを明記しています。

月	主な単元・教材等	主な学習目標
4	- 式の計算 - 式の加法、減法 - いろいろな多項式の計算 - 単項式の乗法、除法	(知) 単項式、多項式、次数、同類項の意味を理解し、四則の計算をすることができる。 (思) 単項式や多項式と数の四則の計算の方法を表現することができる。
	- 文字式の利用 - 文字式の利用	(知) 文字式を利用して、数量の関係や数の性質を説明したり、目的に応じて等式を変形したりすることができる。 (思) 数の性質などが成り立つことを、数量及び数量の関係を捉え、文字式を使って説明することができる。
5	- 連立方程式 - 連立方程式とその解 - 連立方程式の解き方	(知) 連立方程式の解き方について理解し、加減法や代入法によって、連立方程式を解くことができる。 (思) 一元一次方程式と関連付けて、連立方程式を解く方法を考察し表現することができる。
6	- 連立方程式の利用 - 連立方程式の利用	(知) 事象の中の数量やその関係に着目して連立方程式をつくり、その連立方程式を解くことができる。 (思) 連立方程式を具体的な場面で活用することができる。
	- 一次関数のグラフ - 一次関数 - 一次関数の値の変化 - 一次関数のグラフ - 一次関数の式を求めること	(知) 一次関数において、変化の割合やグラフの特徴を理解し、与えられた条件から式を求めたり、グラフに表したりすることができる。 (思) 身の回りの事象の中から、一次関数の関係を見いだすことができる。
7		
9	- 一次関数と方程式 - 方程式とグラフ - 連立方程式のグラフ	(知) 連立方程式の解とグラフとの関係を理解し、グラフの交点を求めることができる。 (思) 一次関数のグラフと二元一次方程式のグラフの関係や、連立方程式の解とグラフの関係など、複合的な見方ができる。
	- 一次関数の利用 - 一次関数の利用	(知) 一次関数を活用して問題を解決する方法について理解し、解くことができる。 (思) 事象の中から、2つの数量の関係を見だし、表現し、一次関数を利用して課題解決することができる。
10	- 平行と合同 - 角と平行線 - 多角形の角 - 三角形の合同	(知) 様々な角や平行線の性質、平行線になる条件について理解し、角の大きさを求めることができる。合同な図形の性質や三角形の合同条件について理解することができる。 (思) 図形の性質を、筋道を立てて説明することができる。また、三角形の合同条件を用いて、2つの三角形が合同であるかどうかを考察し、表現することができる。
	- 証明 - 証明とそのしくみ - 証明の進め方	(知) 命題の仮定と結論、証明の進め方について理解することができる。 (思) 図形の性質などを証明するために、見通しを立てて証明をかくことができる。
11	- 三角形 - 二等辺三角形 - 直角三角形の合同	(知) 二等辺三角形の性質、直角三角形の合同条件、定義と定理、逆と反例について理解し、正しく使うことができる。 (思) 三角形の合同条件をもとにして、二等辺三角形の性質や直角三角形の合同条件を論理的に導くことができる。

	・四角形	(知) 平行四辺形の性質、平行四辺形になるための条件について理解し、正しく使うことができる。長方形、ひし形、正方形、平行四辺形の定義やそれらの関係を述べることができる。 (思) 三角形の合同条件をもとにして、平行四辺形の性質や平行四辺形になるための条件を論理的に導くことができる。平行線と面積の関係に着目して、面積を変えずに別の図形に変形する方法を考えることができる。四角形の性質を具体的な場面で活用することができる。
12	1 平行四辺形の性質 2 平行四辺形になるための条件 3 いろいろな四角形 4 平行線と面積 5 四角形の性質の利用	
1	・場合の数と確率	(知) 多数回の試行によって得られる確率と関連付けて、場合の数をもとにして得られる確率の必要性和意味を理解することができる。樹形図や表などを利用して、いろいろな場合について確率を求めることができる。 (思) 同様に確からしいことに着目し、場合の数をもとにして得られる確率の求め方を考察し、表現することができる。確率を用いて、不確定な事象を捉え考察し、表現することができる。
2	1 確率の求め方 2 いろいろな確率 3 確率の利用	
3	・箱ひげ図 1 箱ひげ図 2 データを活用して問題を解決しよう	(知) 箱ひげ図や四分位範囲などの必要性和意味を、既習のヒストグラムや代表値などと関連付けて理解することができる。 (思) 問題を解決するために、箱ひげ図や四分位範囲などを用いてデータの傾向をいろいろな視点で考察し、判断することができる。

※「主体的に学習に取り組む態度」については、「知識・技能」、「思考・判断・表現」の指導を踏まえ、各単元全体を通して、

- {

 - ・学習内容の必要性和意味を考えようとしている。
 - ・学習内容について学んだことを生活や学習にいかそうとしている。
 - ・学習内容を活用した問題解決の過程をふり返って検討しようとしている。

の観点で評価する。

第2学年 理科 年間学習計画と評価

1 教科目標等について

目標	自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。〔知識及び技能〕 (2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。〔思考力、判断力、表現力等〕 (3) 自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。〔学びに向かう力、人間性等〕
教科書	未来へひろがる サイエンス 2 (啓林館)
副教材	・理科ノート (新学社) ・理科の完全学習 (正進社) ・理科便覧 (浜島書店)

2 評価の観点及び方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
自然の事物・現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	自然の事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
・定期・小テスト等 ・パフォーマンス (技能) テスト ・発言内容 ・指導に対する成果物 (ノートやレポートの記述内容)	・定期・小テスト等 ・発言内容 ・指導に対する成果物 (ノートやレポートの記述内容)	・授業の様子や発言内容 ・指導に対する成果物 (ノート、レポート、作品等) ・振り返り (自己・相互評価)

3 学習についてのアドバイス

学 校	・授業の『めあて』を意識しながら、積極的に学習活動へ参加しましょう。 ・これまでに学習した内容をいかして、仮説や予想を立てるようにしましょう。 ・理科用語や器具の操作方法は単に覚えるだけでなく、その意味を理解した上で、活用できるようにしましょう。 ・グループ活動には積極的に参加し、なかまの意見を聞いて自分の考えを深めましょう。 ・観察・実験では、結果をわかりやすくまとめ、仮説や予想と比較しながら、何がわかったかを自分の言葉で表現しましょう。 ・学習した内容を『振り返り』、身のまわりの自然現象や日常生活の中の出来事との関わりを考えるようにしましょう。
家 庭	・学習した内容で疑問に思ったことや興味をもったことは、自分で調べてみましょう。 ・継続的な学習ができるように、自分で計画を立てて実行できるようにしましょう。 ・学校で学んだことをワークやi プリ等で復習をすることで、確かな力にしましょう。

4 主な単元・教材及び目標

※単元等や目標については、主なものを明記しています。

月	主な単元・教材等	主な学習目標
4	【粒子】 化学変化と原子・分子 1章 物質の成り立ち 2章 物質の表し方 3章 さまざまな化学変化 4章 化学変化と物質の質量	・身のまわりの物質を分解する実験を行い、分解して生成した物質からもとの物質の成分が推定できることを見いだす。 ・物質は原子や分子からできていることを認識する。 ・原子や分子は元素記号で表すことができることを知り、分子を化学式で示すことができる。 ・化学式・化学反応式によって、物質の組成や化学変化を表すことができる。
5		・2種類の物質が反応して結びつく実験を行い、反応前とは異なる物質が生成することを見いだす。 ・さまざまな化学変化を原子・分子のモデルを用いて説明できるようにする。 ・さまざまな化学変化を化学反応式で表すことができる。
6		・酸化と還元が同時に起きていることを見いだし、それらが日常生活にも多く利用されていることに気づく。 ・化学変化に伴う熱の出入りについて認識する。 ・化学変化に関係する物質の質量を測定する実験を行い、化学変化の前後では物質の質量の総和が等しいこと、および反応する物質の質量の間には一定の関係があることを見いだす。 ・実験で得られた結果をグラフ化するなど、実験結果の処理についての技能を習得する。
	【生命】 生物の体とつくりとはたらき 1章 生物の体をつくるもの 2章 植物の体のつくりとはたらき 3章 動物の体のつくりとはたらき 4章 動物の行動のしくみ	・生物の組織などの観察を行い、生物の体が細胞からできていること、および植物と動物の細胞のつくりの特徴を見いだし理解する。 ・植物の葉や茎、根のつくりについての観察を行い、それらのつくりと、光合成、呼吸、蒸散のはたらきに関する実験の結果とを関連づけて理解する。 ・消化や呼吸、血液の循環についての観察・実験を行い、動物の体が必要な物質を取り入れ運搬しているしくみを観察・実験の結果と関連づけて理解する。 ・不要となった物質を排出するしくみがあることを理解する。 ・動物が外界の刺激に適切に反応している様子の観察を行い、そのしくみを感覚器官、神経および運動器官のつくりと関連づけて理解する。
7		
9		
10		
	【エネルギー】 電流とその利用 1章 電流の性質 2章 電流の正体 3章 電流と磁界	・回路の基本的な性質や、電圧と電流の関係について規則性を見いだす。 ・実験機器の操作や実験結果の処理についての技能を習得する。 ・日常生活と関連づけながら静電気の性質について調べ、静電気と電流には関係があることを見いだし、真空放電の実験から、電流の正体について理解する。
11		

12		・日常生活と関連づけながら、電流の磁気作用や電流と磁界との相互作用を理解し、直流と交流の違いを捉える。
1	【地球】 地球の大気と天気の変化 1章 地球をとり巻く大気の様子 2章 大気中の水の変化 3章 天気の変化と大気の動き 4章 大気の動きと日本の四季	・地表にあるもののすべてに大気圧がはたらいていることを理解し、身のまわりの大気の状態を認識する。 ・身のまわりの大気の状態を継続的に観測させて、気象要素の変化と天気の変化の関係をみいだす。
2		・霧や雲のでき方を、空気中の水の変化と関連づけて理解する。
3		・地球上の水がさまざまな状態で存在し、霧、雲、雨や雪はその循環の一部であることを認識する。 ・気圧配置によって、大気の動きが生じることを理解する。 ・日本付近の高気圧や低気圧の移動と、それに伴う天気の変化を、地球規模の大気の動きの一部として捉える。 ・大陸と海洋の温度差によって生じる大気の動きが、日本の気象に影響を与えることを理解する。 ・日本付近で盛衰する3つの気団と関連づけながら、日本の四季の天気の特徴とそれが生じるしくみを理解する。

第2学年 音楽科 年間学習計画と評価

1 学年の目標等について

目 標	表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1)曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。 (2)曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。 (3)主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいく態度を養う。
教科書	中学生の音楽 2・3 上(教育芸術社)、中学生の器楽 (教育芸術社)
副教材等	My Song 6 訂 (教育芸術社)

2 評価の観点及び方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。	・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。	・音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
・授業の様子や発言内容 ・授業における練習の様子 ・ペーパーテスト ・実技テスト（演奏・聴き取り等） ・ワークシート等への記述内容 ・作品やレポート		

3 学習についてのアドバイス

学 校	・音楽の約束（音符、拍子、音階、和音、強弱記号、速度記号など）を理解して、それらを生かして音楽の活動（歌唱、器楽、創作、鑑賞）に積極的に取り組みましょう。 ・曲の特徴やよさを理解して、ふさわしい表現（演奏）ができるよう工夫しましょう。 ・楽器の構造や特徴を理解し、それらを生かして演奏しましょう。 ・自分の声（音）だけでなく周りの声（音）をよく聴き、他者と話し合ったり、アドバイスし合ったりしながら、よりよい演奏となるよう工夫しましょう。 ・音のつながりに気をつけ、旋律やリズムを自分なりに工夫して創作しましょう。 ・作曲者や作詞者の思いや時代背景を知り、声や各楽器の音色、曲のつくり方などに気をつけて鑑賞しましょう。 ・ワークシートには、自分の思いや考え、感じたこと（感想）を書きましょう。
家 庭	・日常の生活において流れている音楽に耳を傾けよう。 ・授業等で興味をもった曲は、作曲者、音楽の特徴やその拝見となる文化や歴史を自分で調べてみよう。

4 題材・目標等について

学期	題 材	題材の目標	教 材
1 学 期	曲想と曲の構成を感じ取って、歌唱表現を工夫しよう	・ 拍にのって、響のある声で合唱しよう。	夢の世界を
	パートの役割を理解して、歌唱表現を工夫しよう	・ パートの役割を理解して合唱しよう。	翼をください
	音の重なり方や反復、変化を理解して、創作表現を工夫しよう	・ 構成を工夫して、言葉によるリズムアンサンブルをつくろう。	Let's Create!
	曲想と音楽の構造との関わりを理解して、その魅力を味わおう	・ 旋律が重なり合っていくおもしろさを味わおう。	フーガト短調
	曲想と歌詞の内容との関わりを理解して、歌唱表現を工夫しよう	・ 情景を思い浮かべながら、言葉を大切に歌おう。 ・ 歌詞と旋律が生み出す雰囲気を味わいながら歌おう。	夏の思い出（共通教材） 荒城の月（共通教材）
2 学 期	曲想と音楽の構造との関わりを理解して、歌唱表現を工夫しよう	・ パートの役割を感じ取って合唱しよう。 ・ 曲想を活かして合唱しよう。	合唱コンクールの学級曲
	言葉の抑揚を生かして、創作表現を工夫しよう	・ 言葉の抑揚を生かして旋律をつくろう。	My Melody
	曲想と音楽の構造との関わりを理解して、その魅力を味わおう	・ 曲の構成に注目しながら、曲想の変化を味わおう。	交響曲第5番 ハ短調
3 学 期	オペラに親しみ、その魅力を味わおう	・ オペラに親しみ、その音楽を味わおう。	「アイーダ」から
	歌舞伎に親しみ、その魅力を味わおう	・ 歌舞伎に親しみ、その音楽を味わおう。	歌舞伎「勧進帳」
	楽器の音色と奏法とのかかわり理解して、器楽表現をしよう	・ 音階を覚え、簡単な曲を弾こう	きらきら星
	仲間とともに、表情豊かに合唱しよう	・ 曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫して歌おう。	校歌・君に会えたことに

第2学年 美術科 年間学習計画と評価

1 教科目標等について

目標	表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。 (2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。 (3) 美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。
教科書	美術2・3上、美術2・3下(日本文教出版)
副教材	

2 評価の観点及び方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
- 対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 - 意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表している。	自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
- アイディアスケッチ - ワークシート - 授業の様子や発言内容 - 作品 - 定期テスト	- アイディアスケッチ - ワークシート - 授業の様子や発言内容 - 作品 - 定期テスト	- アイディアスケッチ - ワークシート - 授業の様子や発言内容 - 作品 - 振り返りシート

3 学習についてのアドバイス

学校	- 自分の感性や個性を大切にして、美術の活動に取り組みましょう。 - 主題を考え、これまでに学習したことを活用して、制作に取り組みましょう。 - 主題をアイディアスケッチや文章に表現して、構想を練りましょう。 - 作品について感じたことを積極的に話し合いましょう。 - 鑑賞の学習では、作者の心情や表現の意図と工夫について考えましょう。
家庭	- 生活の中で、「きれいだな」「すてきな」「おもしろいな」と思った絵やデザイン、写真、形などをスケッチしたり写真に撮ったりしてアイディアを貯めておきましょう。 - いつも見ているもの、身近なものでも見る角度を変えると新しい発見があります。普段から「見方を変えて見る」ことをしてみましょう。

4 主な単元・教材及び目標

※単元等や目標については、主なものを明記しています。

月	主な題材・教材等	主な学習目標
1 学 期	○オリエンテーション ・学びの実感と広がり・多彩な表現に挑む・この教科書で学ぶみなさんへ ○つくって使って味わう篆刻（デザイン） ・石でつくる／印のデザイン ○ルネサンスが目指したもの（鑑賞）	2年生の美術科ではどのようなことを学ぶのかを知り、この1年で学ぶことや、これからの学習の見通しをもつ。 材料の特性や機能性を生かしてつくることに興味を持ち、材料のよさや美しさ、使う場面や機能などを基に主題を生み出し、材料や用具の特性を生かし、見通しを持ってデザインし表す。 ・材料の持ち味や、使う場面などから主題を生み出す。 ・互いの作品を鑑賞し合い、よさや美しさ、表現の工夫などについて考えを深める。 ルネサンスの表現の特徴や美しさ、時代背景などに関心を持ち、作者の意図と創造的な工夫、国際理解や美術文化の継承と創造について考えるなどして、見方や感じ方を深める。 ・明暗や色彩などが感情にもたらす効果や、表現やしぐさ、構図や背景などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。
2 学 期	○つくって使って味わう篆刻（彫刻） ・石でつくる／持ち手を彫る ○文化の出会いがもたらしたもの（鑑賞） ・日本美術と世界の美術の歩み ○浮世絵はすごい（鑑賞） ・北斎の大波	感じ取ったイメージなどから主題を生み出し、形や重心の効果、動きの感じなどを捉え、材料の特性を生かして創造的に立体で表す。 ・美しさなどから感じ取ったイメージを基に主題を生み出す。 ・互いの作品を鑑賞し合い、よさや美しさ、表現の工夫などについて考えを深める。 ・主題を基に材料や用具の特性を生かし、見通しを持って制作する。 ジャポニスムの表現の特色や時代背景などに関心を持ち、作品の特徴や日本美術の作風がどのように生かされているかなどを捉え、表現の特色や美しさ、作者の意図と創造的な工夫、美術を通した国際理解、美術文化の継承と創造について考えるなどの見方や感じ方を深める。
3 学 期	○水と筆を操る（絵画） ・水墨画の表現 ○なんでこれが美術なの？（鑑賞） ・学びの言葉 岡本太郎 ・岡本太郎“芸術はみんなのもの”	墨などで表すことに興味を持ち、表したいものやイメージを基に主題を生み出し、濃淡や線などの効果を考えて表現の構想を練り、墨の特性を生かして創造的に絵で表す。 ・墨などの性質や技法に触れながら、表したいものやイメージから主題を生み出す。 ・主題を基に、濃淡や線などの効果を考えて造形的な表現の構想を練り、工夫して表す。 現代美術に関心を持ち、物と場所、大きさ、形や色彩、制作の様子などに着目し、イメージを捉えるなどしながら、作者の心情や表現意図、創造的な工夫などについて考えるなど見方や感じ方を深める。 ・現代美術の多様な表現を鑑賞し、気付いたこと、感じたこと、考えたことなどを話し合う。 ・作品を通して、作者の心情や表現の意図、創造的な工夫などを考え、発表し合う。 ・発表意見や教師の解説、自分の考えから現代美術のよさや美しさ、面白さなどについてまとめる。

第2学年 保健体育科 年間学習計画と評価

1 学年の目標等について

目標	体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習活動を通して、心と体を一体として捉え、傷害にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を次のとおり育成する。 【体育分野】 (1)運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、運動を豊かに実践できるようにするため、運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。 (2)運動についての自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。 (3)運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たす、一人一人の違いを認めようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全に留意し、自己の最善を尽くして運動をする態度を養う。 【保健分野】 (1)個人生活における健康・安全について理解し、基本的な技能を身に付けるようにする。 (2)健康についての自他の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 (3)生涯を通じて心身の健康の保持増進を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。
教科書	最新 中学校保健体育（大修館書店）
副教材等	

2 評価の観点及び方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
- 各運動の特性や成り立ち、技の名称や行い方、伝統的な考え方、各領域に関連して高まる体力、健康・安全の留意点についての具体的な方法及び運動やスポーツの多様性、運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方についての考え方を理解している。 - 健康な生活と疾病の予防、心身の機能の発達と心の健康、傷害の防止、健康と環境について、個人生活を中心として科学的に理解している。 - 各領域の運動の特性に応じた基本的な技能や保健に関する基本的な技能を身に付けている。	- 運動を豊かに実践するための自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。 - 個人生活における健康に関する課題を発見し、その解決を目指して科学的に思考し判断しているとともに、それらを他者に伝えている。	- 運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、公正、協力、責任、共生などに対する意欲をもち、健康・安全に留意して、学習に積極的に取り組もうとしている。 - 自他の健康の保持増進や回復についての学習に自主的に取り組もうとしている。
- 授業の様子や発言内容 - 学習カードや授業ノートの記述 - 定期テスト等 - 実技テスト	- 授業の様子や発言内容 - 学習カードや授業ノートの記述	- 授業の様子や発言内容 - 学習カードや授業ノートの記述

3 学習についてのアドバイス

学校	- 学習課題等を捉え、自分なりの課題をもち、その解決に向け工夫して取り組みましょう。 - 先生の指示や友達の発言をしっかりと聞き、自分に取り入れましょう。 - どの学習活動も粘り強く取り組みましょう。 - 学習カードなどは、この時間学んだことや次の時間の課題などを整理するようにしましょう。 - ルールやマナーを守り、怪我や事故に気をつけ、安心・安全な活動につなげましょう。
家庭	- 授業に入る前には、教科書等の内容を読むようにしましょう。 - 授業で学んだ健康や安全など保健に関わる知識や技能は、家庭でも活用するように心がけましょう。

4 主な単元・教材及び目標

※目標については、主なものを明記しています。

月	主な単元・教材等	目標（学習を通して身に付ける力）
	体づくり運動	・心や体との関係や心身の状態に気付き、仲間と積極的に関わり合う。 ・自分の課題を発見し、解決に向けて運動に取り組み方を工夫するとともに、自分や仲間が考えたことを伝える。 ・運動に積極的に取り組み、仲間の学習も援助しようとする。 ・健康・安全に気を配る。
	陸上競技 ・ハードル走 ・走り幅跳び	・【ハードル走】リズミカルな走りから滑らかにハードルを越すことができる。 ・【走り幅跳び】スピードに乗った助走から素早く踏み切って跳ぶことができる。 ・積極的に取り組み、勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、仲間の課題や挑戦を認めようとするなどや、健康・安全に気を配ることができる。
	水泳	・平泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスをとり長く泳ぐことができる。バタフライでは、手と足の動き、呼吸のバランスをとり泳ぐことができる。 ・自分の課題を発見し、解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自分の考えたことを伝える。 ・積極的に取り組み、勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、仲間の課題や挑戦を認めようとするなどや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全に気を配ることができる。
	傷害の防止	・傷害の防止について理解を深めるとともに、応急手当をすることができる。 ・課題を発見し、自他の危険の予測を基に、危険を回避したり、傷害の悪化を防止したりする方法を考え、適切な方法を選択し、それらを伝え合う。 ・課題の解決に向けた学習に自主的に取り組むことができるようにする。
	体育理論	・運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方について理解する。 ・自分の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えることができるようにする。 ・学習に積極的に取り組むことができるようにする。
	器械運動 跳び箱運動	・【跳び箱運動】切り返し系や回転系の基本的な技を滑らかに行うこと、条件を変えた技や発展技を行うことができる。 ・自分の課題を発見し、解決に向けての取り組み方を工夫するとともに、考えたことを伝える。
	球技 ・ネット型 ・ゴール型	・ボールや用具の操作と定位置に戻るなどの動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。 ・自分の課題を発見し、解決に向けての取り組み方を工夫するとともに、自分の考えたことを伝える。 ・積極的に取り組み、フェアプレイを守ろうとすること、作戦などについての話し合いに参加しようとするなど、仲間の学習を援助することなどや、健康・安全に気を配ることができる。
	ダンス	・【創作ダンス】多様なテーマから表したいイメージを捉え、動きに変化を付けて即興的に表現したり、変化のあるひとまとまりの表現にしたりして踊る。 ・【フォークダンス】日本の民踊や外国の踊りから、それらの踊り方の特徴を捉え、音楽に合わせて特徴的なステップや動きで踊る。 ・【現代的なリズムのダンス】リズムの特徴を捉え、変化のある動きを組み合わせ、リズムに乗って全身で踊る。

		・自分の課題を発見し、解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自分の考えたことを伝える。
	武道	・相手の動きに応じた基本動作や基本となる技を用いて、簡単な攻防をすることができる。 ・自分の課題を発見し、解決に向けての取り組み方を工夫するとともに、考えたことを伝える。 ・積極的に取り組み、相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、友達の課題や挑戦を認めようとするなどや、禁じ技を用いないなど健康・安全に気を配る。
	生活習慣病などの予防	・生活習慣病などの予防について理解する。 ・自分の課題を発見し、疾病等のリスクを軽減したり、生活の質を高めたりすることなどに関連付けて解決方法を考え、適切な方法を選択し、それらを伝え合う。 ・課題の解決に向けた学習に自主的に粘り強く取り組むことができるようにする。
	陸上競技 ・長距離走	・ペースを守って走ることができる。 ・自分の課題を発見し、解決に向けての取り組み方を工夫するとともに、自分の考えたことを伝える。 ・積極的に取り組み、勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、仲間の課題や挑戦を認めようとするなどや、健康・安全に気を配ることができる。
	喫煙・飲酒・薬物乱用と健康	・喫煙、飲酒、薬物乱用と健康について理解する。 ・自分の課題を発見し、疾病等のリスクを軽減したり、生活の質を高めたりすることなどに関連付けて解決方法を考え、適切な方法を選択し、それらを伝え合う。 ・課題の解決に向けた学習に自主的に粘り強く取り組むことができるようにする。

※各運動領域において、その運動ならではの楽しさや喜びを味わい、特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などを理解することも身に付ける力として含む。

第2学年 技術科 年間学習計画と評価

1 教科目標等について

目標	生活の営みに係る見方・考え方や技術の見方・考え方を働かせ、生活や技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を養う。 (1)生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。〔知識及び技能〕 (2)生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を養う。〔思考力、判断力、表現力等〕 (3)よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。〔学びに向かう力、人間性等〕
教科書	技術・家庭 技術分野（開隆堂）
副教材	技・家ノート

2 評価の観点及び方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生活や社会で利用されている技術について理解しているとともに、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解している。	生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、技術を工夫し創造しようとしている。
・定期、小テスト等 ・ノート、ワークシートへの記述 ・授業の様子や発言内容 ・指導に対する成果物（レポート、作品等）	・定期・小テスト等 ・授業の様子や発言内容 ・ノート、ワークシートへの記述 ・指導に対する成果物（レポート、作品等）	・発言内容 ・指導に対する成果物（レポート、作品等） ・振り返り（自己・相互評価）

3 学習についてのアドバイス

学 校	・準備物を忘れずに持ってくるようにしましょう。 ・授業中に話したことはしっかりと聞き、必要に応じてプリントに書き込むようにしましょう。さらに応用的なこと（日常生活）に活かせるようにしましょう。 ・特別教室（技術室・PC室）を利用するときは、安全に事故やケガをしないように心がけましょう。
家 庭	・学習した内容で分からない部分は復習をしておきましょう。 ・作図や作業の手順、機械や道具の名前、使い方のポイントなどをしっかりと確認しておきましょう。 ・家の手伝いを積極的に行い、学習した内容を活かそうと心がけましょう。

4 主な単元・教材及び目標

※単元等や目標については、主なものを明記しています。

月	主な単元・教材等	主な学習目標
4	・材料と加工の技術についての基礎的・基本的な知識・技能	・主な材料や加工についての科学的な原理・法則や材料の製造方法や成形方法などの基礎的な技術の仕組みの理解することができる。
5		
6	・材料と加工の技術による問題解決 ・社会の発展と材料と加工の技術	・製作に必要な図をかき、安全・適切な製作や検査・点検等を行うことができる。
7		・材料と加工の技術の見方・考え方を働かせて、問題を見いだして課題を設定し解決することができる。
9		・生活や社会に果たす役割や影響に基づいた材料と加工の技術の概念を理解することができる。 ・よりよい生活や持続可能な社会の構築に向けて、材料と加工の技術を評価し、適切に選択、管理・運用したり、新たな発想に基づいて改良、応用したりすることができる。

後期の授業クラスも同内容

第2学年 家庭科 年間学習計画と評価

1 教科目標等について

目標	生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。〔知識及び技能〕 (2) 家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。〔思考力、判断力、表現力等〕 (3) 自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。〔学びに向かう力、人間性等〕
教科書	新しい技術・家庭 家庭分野（東京書籍）

2 評価の観点及び方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
家族・家庭の基本的な機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	これからの生活を展望し、家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
・定期テスト等 ・授業の様子 ・指導に対する成果物（レポート、作品等） ・振り返り（自己・相互評価）	・定期テスト等 ・授業の様子 ・指導に対する成果物（レポート、作品等） ・振り返り（自己・相互評価）	・定期テスト等 ・授業の様子 ・指導に対する成果物（レポート、作品等） ・振り返り（自己・相互評価）

3 学習についてのアドバイス

学校・家庭	・学習課題等を捉え、自分なりの問いを持ち、解決する方法を工夫しましょう。 ・先生の指示や友達の意見をしっかりと聞き、活かしましょう。 ・目的を意識し、伝わるように話したり、文章を書いたりしましょう。 ・振り返り（プリント等）は工夫してまとめるとともに、自分の考えや気づき、理解し成長できたことなど書き込みましょう。 ・学習したことを、自分はどうのように考えるのか整理し、家庭で実践してみましょう。
-------	--

4 主な単元・教材及び目標

※単元等や目標については、主なものを明記しています。

時間	主な単元・教材等		主な学習目標
4	3編1章 家族・家庭と地域	①家庭や家族の機能について考えよう	・家庭や家族の基本的な機能について考える。 ・家庭や家族の大切さについて考える。
		②中学生としての自立を考えよう	・自分と家族との生活を振り返り、中学生としての自立について考える。
		③家庭生活と地域との関わりを考えよう	・地域の活動などを調べ、自分や家族がどのように関わっているか考える。
15	3編2章 幼児の生活と家族	成長を振り返ろう	・自分の成長を振り返る。
		①幼い頃を振り返ろう	・自分の幼児期を振り返り、周囲の人との関わりに気づく。
		②幼児の体の発達について考えよう	・幼児の体の発達の特徴について理解する。
		③幼児の心の発達について考えよう	・幼児の心の発達の特徴について理解する。
		④幼児の生活習慣の習得について考えよう	・幼児の生活習慣がどのように身についていくのか考える。 ・生活習慣の習得を支える家族の役割を考える。
		⑤幼児の生活と遊びを知ろう	・幼児の1日の生活を知り、幼児にとっての遊びの意義について考える。 ・幼児の生活やいろいろな遊びを観察し、遊びで育つ力について考える。 ・遊び道具や遊び場所について調べ、遊び道具の役割や遊ぶ環境について考える。
		⑥幼児との関わり方を考えよう	・幼児に合った接し方や遊びを工夫し触れ合う方法を考える。
		⑦幼児との関わり方についてまとめよう	・幼児との触れ合い活動を通して、学んだことを発表する。
		⑧子どもにとっての家族について考えよう	・子どもが育つ環境としての家族の役割を考える。
12	3編3章 これからの私と家族	①中学生にとっての家族について考えよう	・家族との関わりや、これからの自分の家庭生活について考える。 ・家族関係をよりよくする方法を考える。

4	1 編 3 章 私 た ち の 食 生 活	① 日常食の調理	・調理の流れと手順がわかり、計画を立てることができる。 ・おいしさと調理の関係や調理における衛生と安全を理解し、実践できるようにする。 ・肉の特徴や調理上の取り扱い方がわかり、肉を調理することができる。 ・魚の特徴や調理上の取り扱い方がわかり、魚を調理することができる。 ・野菜の特徴や調理上の取り扱い方がわかり、野菜を調理することができる。
		② 地域の食文化	・地域で生産される食材を知り、それを使う意義と和食の調理を理解する。 ・各食品群の食品を組み合わせ、栄養バランスのとれた1日分の献立を考えることができる。 ・持続可能な食生活を送るために食生活を工夫することができる。

第2学年 外国語科 年間学習計画と評価

1 教科目標等について

目標	外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を養う。 (1)外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けるようにする。〔知識及び技能〕 (2)コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。〔思考力、判断力、表現力等〕 (3)外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。〔学びに向かう力、人間性等〕
教科書	Here We Go! ENGLISH COURSE 2
副教材	JOYFUL WORKBOOK (新学社)、絶対評価プリント (株式会社 教育同人社) Benjamin (株式会社 正進社)

2 評価の観点及び方法

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	[知識] 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 [技能] 実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題について、はっきりと話された文章等を聞いて、その内容を捉える技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題についてはっきりと話される文章を聞いて、必要な情報や概要、要点を捉えている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、話し手に配慮しながら、主体的に英語で話されることを聞こうとしている。
読むこと	[知識] 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 [技能] 実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題について書かれた短い文章等を読んで、その内容を捉える技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について書かれた短い文章を読んで、必要な情報や概要、要点を捉えている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、書き手に配慮しながら、主体的に英語で書かれたことを読もうとしている。

話すこと (やり取り)	[知識] 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 [技能] 実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて伝え合う技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、伝え合っている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、話し手に配慮しながら、主体的に英語を用いて伝え合おうとしている。
話すこと (発表)	[知識] 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 [技能] 実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて話す技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、話している。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手に配慮しながら、主体的に英語を用いて話そうとしている。
書くこと	[知識] 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 [技能] 実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、またはそれらを正確に用いて書く技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、書いている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に英語を用いて書こうとしている。
	・定期・単元テスト等 ・パフォーマンステスト ・授業様子や発言内容 ・指導に対する成果物（ノート、ワークシート等） ・Toki10	・定期・単元テスト等 ・パフォーマンステスト ・授業様子や発言内容 ・指導に対する成果物（ノート、ワークシート等）	・授業の様子や発言内容 ・パフォーマンステスト ・指導に対する成果物（ノート、ワークシート等） ・振り返り（自己・相互評価）

3 学習についてのアドバイス

学校	・間違うことを恐れずに、積極的に英語を使いましょう。 ・音読練習や会話練習などは、しっかり声を出して練習しましょう。 ・ペアやグループでの活動に意欲的に取り組みましょう。 ・授業だけでなく、授業以外の時間も積極的にALTの先生に話しかけましょう。 ・単元終了時や定期テスト後に自分の理解度を振り返り、見直しをしましょう。
----	--

家庭	・学習した内容は、その日にワークなどを活用して復習しましょう。
	・教科書の本文を、何度も音読しましょう。
	・言えるようになった英文を、ノートに書いて繰り返し練習しましょう。
	・予習として、単語調べをしておきましょう。
	・テレビ、ラジオ、インターネット等を通して、英語に触れる機会を自主的に作りましょう。

4 主な単元・教材及び目標

※単元等や目標については、主なものを明記しています。

月	主な単元・教材等	主な学習目標
4	Unit 1 Hajin's Diary	・日記から、出来事や感想などを読み取ることができる。 ・日記に、出来事や感想などを書くことができる。
5	Active Grammar 1 動詞の過去形／過去進行形	・過去の出来事や状況などを伝える言い方を理解し、使うことができる。
	Unit 2 Basketball Tournament	・インタビューから、好きなことなどを聞き取ることができる。 ・好きなことやしたいことなどについて、たずね合うことができる。
6	Active Grammar 2 動名詞／不定詞＜名詞的用法＞	・「～すること」という言い方を理解し、使うことができる。
	Daily Life 1 電話	・電話で、何かを頼んだり応じたりすることができる。
	Unit 3 Plans for the Summer	・メールから、予定や希望などを読み取ることができる。 ・予定や希望などを伝えるメールを書くことができる。
	Active Grammar 3 be going to / will	・未来のことを伝える言い方を理解し、使うことができる。
7	Daily Life 2 アナウンス	・アナウンスから、必要な情報を聞き取ることができる。
	Let's Read1 Sukh's White Horse	・物語から、出来事の経過を読み取ることができる。
	World Tour 1 いろいろな単位	・日本とは異なる単位について知ることができる。
	You Can Do It! 1 わが町観光プランをおすすめしよう	・外国からの交換留学生の自己紹介文を読んで、2 人の興味関心があることを知ることができる。 ・2 人の興味関心に応じた観光プランを考えて発表することができる。
9	Daily Life 3 レストラン	・飲食店で、注文したり何かを依頼したりすることができる。
	Unit 4 Tour in New York City	・ガイドブックから、施設やできることなどを読み取ることができる。 ・施設やできることなどを言って場所を紹介することができる。
	Daily Life 4 道案内	・行き方をたずねたり教えたりする、道案内のやり取りができる。
10	Active Grammar 4 目的語	・動詞の目的語について理解し、使うことができる。
	Unit 5 Earthquake Drill	・説明から、どんなものかを聞き取ることができる。 ・防災バッグに入れるものを決める、話し合いをすることができる。
	Daily Life 5 イベントのお知らせ	・複数の掲示板から、自分が必要とする情報を読み取ることができる。
	Daily Life 6 体調不良	・体調をたずねたり、助言をしたりするやり取りができる。

11	Active Grammar 5 助動詞	・既習の助動詞を整理して理解し、使うことができる。
	Unit 6 Work Experience	・レポートから、職場で体験したことや感想などを読み取ることができる。 ・職場で体験したことや感想などを伝えるレポートを書くことができる。
	Active Grammar 6 不定詞＜形容詞的用法・副詞的用法＞	・不定詞の形容詞的用法と副詞的用法を理解し、使うことができる。
	Active Grammar 7 接続詞	・既習の接続詞を整理して理解し、使うことができる。
12	Let's Read 2 Meet Hanyu Yuzuru	・インタビュー記事から、人物の経歴や思いを読み取ることができる。
	World Tour 2 世界を舞台に働く人	・世界で活躍する人たちについて知ることができる。
	You Can Do It! 2 職業診断のチャートを作ろう	・職業についてのコメントを読み、どの職業かを当てることができる。 ・職業診断のチャートを作り、職業診断のやり取りをすることができる。
1	Unit 7 Amazing Australia	・観光紹介の記事から、名所や特色などを読み取ることができる。 ・町の名所や名物などを伝える、紹介文を書くことができる。
2	Daily Life 7 観光案内	・音声案内から、おおまかな情報を聞き取ることができる。 ・観光案内情報から、必要な情報を読み取ることができる。
	Active Grammar 8 比較表現	・比較表現を理解し、使うことができる。
	Unit 8 Staging a Musical	・学級新聞から、作品紹介のおおまかな内容を読み取ることができる。 ・作者やおおまかな内容などを言って、好きな作品を紹介することができる。
	Active Grammar 9 受け身の文	・受け身の文について理解し、使うことができる。
3	Daily Life 8 音声ガイド	・音声ガイドから、絵画のおおまかな情報を聞き取ることができる。
	Let's Read 2 Emojis — from Japan to the World	・説明文から、絵文字の概要を読み取ることができる。
	World Tour 3 世界遺産めぐり	・いろいろな国の世界遺産について知ることができる。
	You Can Do It! 3 日本のおもしろいものを紹介しよう	・外国人旅行者のインタビューから、日本でおもしろいと思ったものを聞き取ることができる。 ・日本のおもしろいものを紹介するクイズをすることができる。
	Let's Read more 1 The Statue of Liberty	・紹介文から、自由の女神像の歴史や見どころを読み取ることができる。
	Let's Read more 2 Aboriginal Art	・アボリジナル・アートの紹介文を読んで、その歴史や特徴を読み取ることができる。